

## 各種報告

### ボランティア活動報告

5月13日、静岡支部はボランティア活動の一環として、浜松市が主催する市天然記念物のアカウミガメが安全に産卵できる砂浜を確保するための「ウエルカムクリーン作戦」に、組合員とその家族を含め4名で参加しました。会場である中田島砂丘に集合し、市の職員から説明を受けゴミ拾いに入りました。砂浜に出ると、ペットボトルやビニールが散乱し、他にも煙草の吸殻や釣具用品、粗大ゴミ等も捨てられていました。配布されたゴミ袋は瞬く間に大きく膨らみ、収集所で分別し約1時間の清掃活動は終了しました。中田島砂丘は日本でも有数のアカウミガメの産卵地であり、毎年多くのアカウミガメが産まれ、ここからアメリカ西海岸やメキシコ付近を回り、約20年後に日本近海に戻ってくるそうです。餌と間違え、ペットボトルの蓋やビニールなどを食べてしまうと、生死に関わっています。問題はゴミだけではなく、年々砂丘の海岸侵食は進み、産卵場所も減ってきていることから生息数も減少し、絶滅してしまう恐れもあります。今回、私たちが子供の時に触れてきた壮大な砂丘と正常な自然界の連鎖を少しでも戻し、未来の子供たちに残す活動に触れ貴重な時間を過ごすことができました。



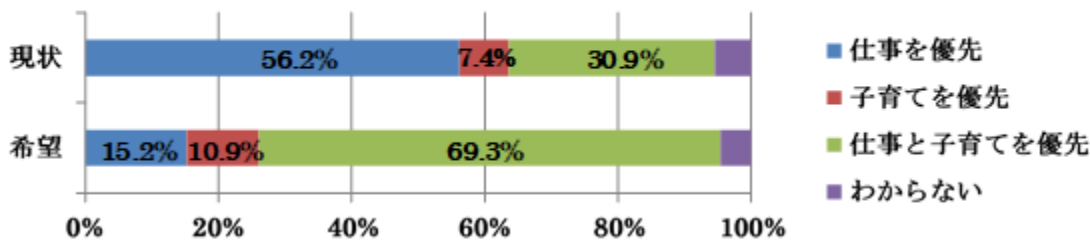
これを機会にボランティア活動の意義を伝え、幅を広げて行けるようにしていきたいと思えます。例年の参加人数は約4000人、ゴミ収集量は約5トンにもなります。

### 男女平等月間について

6月は「男女平等月間」です！地域・職場・労働組合における男女平等参画の重要性について、組織内での合意形成を図り、男女平等推進への機運を高めるため、男女雇用機会均等法の交付月である6月を「男女平等月間」に設定し、時々の課題をテーマに取組んでいます。今回は両立支援として、「男性の育児休業取得促進について」

男性の育児休業取得率は3.1%、男性20歳〜59歳の育児に対する希望と現状は、約7割が両立を希望するものの、現実には約6割が仕事優先となっており、週の労働時間が長い程、男性が子育てしながら働ける環境にはない」と答えています。そしてJR貨物での男性の育児休業取得率はH28年度ではわずか2%と、とても低い水準となっています。

男性の仕事と子育ての希望と現状



### 「育児に関する制度」

- ・育児休業
- ・子の看護休暇（看護半休）
- ・時間外及び休日等労働の制限
- ・深夜帯勤務の制限
- ・育児短時間勤務

育児休業は人事考課における不利益取り扱いはありません。皆さんの職場では育児休業を取得できる環境、制度の周知は出来ているでしょうか？

「育児は母親の役割」「キャリアに傷がつく」「要員不足できつと無理だろう」など、相談できず諦めていますか。制度を周知し、利用しやすい環境を作りましょう。

### JR連合青年女性委員会 第23回ユースラリー

JR連合青年女性委員会「第23回ユースラリー」が、5月26〜28日にかけて、香川県内にて行われ、貨物鉄産からは、本部長 青年部長・鈴木教仁が参加しました。

1日目、各地から琴平駅に集合し、国営讃岐まんのう公園へ向かい、開会挨拶後、参加者が各チームに振り分けられ、自己紹介や缶積みリレーなどのゲーム等で、チーム内の親睦を図り、夕食のBBQでは、愛媛名物の「じゃこ天」の振る舞いがあり、皆で美味しく頂きながら、明日開催されるウォークラリーの作戦会議等を行い、さらに親睦を深めました。

2日目午前中より、琴平駅前をスタート地点とし、ウォークラリーが開始され、各チーム金比羅山参拝や、うどん学校での手打ちうどん体験、その他名所に設置されているチェックポイントを巡り、香川名物である、讃岐うどんや骨付鳥なども堪能しました。



夜は、ウォークラリー結果発表や各単組紹介、サプライズとして、国民民主党の玉木代表が特別来賓としてお越し頂き、熱いメッセージを頂戴しました。

3日目は、「労働政策から学ぶ組合の必要性について」というテーマで学習会を開催し、労働環境や長時間労働問題、これからのAI・IoTによる技術革新について等の講義を受け、各グループ内で、職場の環境問題等について活発な議論が交わされ、チーム内でまとめた、「若い世代の声や考え」等、日頃感じている様々な意見が発表されました。

3日間を通じ、同じJRで働く若い仲間との親睦を図ることで、他のJR各社での職場環境問題や組織問題等を知ることができ、これらを通じて活発な意見交換ができたことは、私にとって大変プラスになりました。充実したものとなりました。今後も、JR連合が開催する学習会やレク等へ積極的に参加していきたいと思えます。